Since1962. 広報湯前
あなたとまちをつなぐ情報誌
Yunomae
人吉温泉
100
湯前線
100th ANNIVERSARY
DEN-EN SYMPHONY
未来に向かって
出発進行！
3
The Monthly
Public Relations
Mar_2024
Vol.513

人のうごき

1月

人口：3508人
（男：1658　女：1850）
世帯：1519世帯
※1月31日時点

ご冥福をお祈りします

尾前 ミヱ子（上染田）
的場 明徳（浅鹿野）
野田 せい（馬場）
那須 久美子（上里1）
吉村 節子（野中田2）
椎葉 永重（野中田3）
瀧上 奈津夫（下城）
深水 仁六（野中田3）
米良 武司（野中田3）
遠山 道利（上里3）

香典返し

尾前 浩一（上染田）
髙橋 ヒロエ（下染田）
木南 豊男（中里2）
那須 明美（神奈川県）
野田 由香（馬場）
山下 千佐子（多良木町）
椎葉 咲子（野中田3）

15年間の食文化継承活動に感謝状

「あくまき」で食の名人の認定を受けて15年

昨年11月27日、ホテル熊本テルサ（熊本市）で「『くまもとふるさと食の名人』認定証交付式・感謝状贈呈式および食の技交流会」が開かれ、深水博子さん（77＝野中田3）に感謝状が贈られました。今回贈られた感謝状は、食の名人として15年間継続して活動してきた人に贈られるもの。感謝状を受け取った深水さんは「『食の名人』での勉強があって自分の身を磨くことができ、毎日楽しく過ごせている。ぜひ若い人にも『食の名人』になってもらいたい」と話しました。

※くまもとふるさと食の名人…県の郷土料理について卓越した知識・経験・技術を持ち、伝承活動に取り組んでいる人を県知事が認定するもの

球磨地域の野菜園芸振興に貢献

地域農業のために長年活動

2月2日、ホテル熊本テルサ（熊本市）で熊本県野菜振興大会が開かれ、瀧本明吉さん（71＝中猪）が熊本県野菜園芸功労者表彰を受賞しました。瀧本さんは球磨地域農業協同組合（JAくま）在職中に、営農センター長や株式会社クマレイの取締役専務など歴任。退職後は同組合の理事として活動するとともに、湯前町農業委員や熊本県新規就農者アドバイザーも務めました。表彰を受けた瀧本さんは「受賞したことはもちろんうれしいが、JAくま職員のときに関わっていた品目の生産が今も続いていることが何よりもうれしい」と話しました。

Index

広報湯前令和6年2月号の5㌻の記載に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。
誤）藤岡 顕将さん（下染田）　正）藤岡 顕将さん（上里3）

練習の成果を発揮

慈光こども園　発表会

2月10日、慈光こども園で発表会が開かれ、園児らが練習の成果を披露しました。

年長児の合奏から始まり、歌や遊戯、体操など、クラスごとにそれぞれ工夫を凝らして発表。体調不良などで全員がそろって練習できたのは前日だけでした。全員で協力して最後までやりきった園児らに、会場からは盛大な拍手が送られました。

1_ 笑顔でEnglish Song（イングリッシュ ソング）を大合唱 2_ 鍵盤ハーモニカを3曲も弾いたよ 3_ 名前を呼ばれて大きく返事 4_ かわいいポーズ 5_ 逆立ち歩きで段差をクリア 6_ 大きくジャンプ！12段成功！ 7_ キラキラ～ 8_ 3人そろってきれいな倒立 9.10_ 気合のポーズ 11_ 変奏曲に挑戦 12_ 肩を組んで仲良くダンス

「地域の宝」であり続けるために

湯前線開業100周年記念特集

令和６年３月30日。

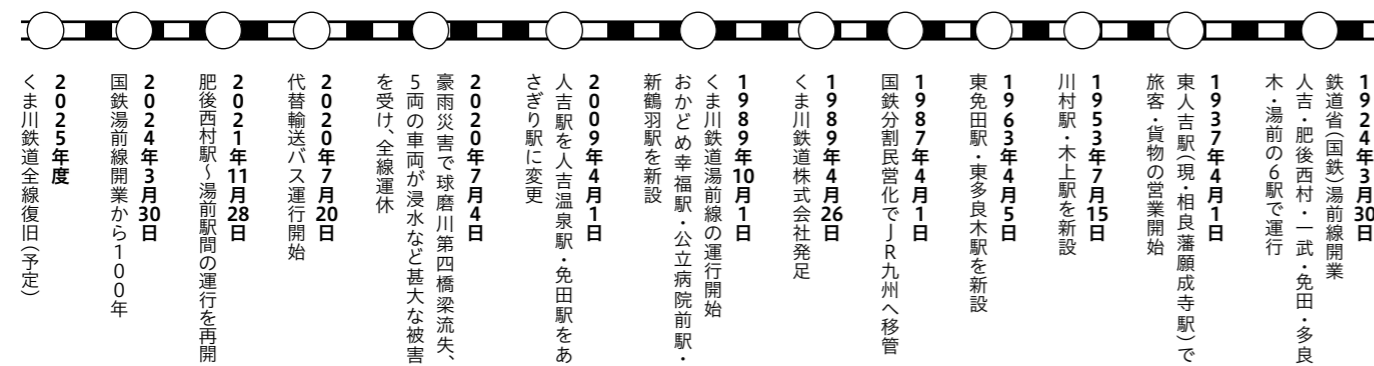
くま川鉄道の前身、国鉄湯前線の開業から100年を迎えます。

度重なる苦難を乗り越えながら、人吉球磨に住む人々の生活を支え続けてきた鉄道は

「地域の足」であるとともに「地域の宝」でもあります。

この先も「地域の宝」であり続けるために必要なものは──。

国鉄湯前線・くま川鉄道のこれまでと、これからを追いました。

この特集は人吉市・錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町の広報担当者が協力して作りました。
表紙の写真はくま川鉄道株式会社の許可を得て撮影しています。

▲田んぼのそばを黒煙を上げて走る国鉄湯前線の蒸気機関車（提供：くま川鉄道）

湯前線の歴史

くま川鉄道の前身である国鉄湯前線は大正13年（1924年）3月30日に開業。当初は人吉・肥後西村・一武・免田・多良木・湯前の6駅で運行していました。山々に囲まれた球磨盆地を走る湯前線には、人々だけでなく木材を積んで走る貨物列車としての一面も。しかし、トラック輸送の発達や外国産木材などの需要増の影響で、多良木～湯前間、続いて、人吉～多良木間の貨物列車が廃止。自動車の普及で人々の利用も減り、ついには旅客列車も廃止の方針が決まりました。湯前線は国鉄分割民営化後に発足したJR九州に移管されましたが、廃止することが前提でした。

湯前線の頃から利用者の大部分を占めるのは、沿線に通う学生たちでした。学生たちの通学手段を残すために地域住民が協力し、存続運動を沿線地域で展開。行政と民間が出資する第三セクター方式での存続が決まり、平成元年（1989年）10月1日に、くま川鉄道としての運行がスタートしました。その後も地域の足として活躍を続け、こし3月30日に国鉄湯前線開業から100年を迎えます。

▼国鉄時代の湯前駅と蒸気機関車（提供：くま川鉄道）

Interview

鉄道は心のつながりの場所

人吉鉄道観光案内人会 会長
立山 勝徳 さん（88＝人吉市）
昭和32年に日本国有鉄道（通称：国鉄）に入社。機関士として蒸気機関車（SL）やディーゼル機関車を運転。昭和62年に退職。現在はツアーの案内や中学生を対象に鉄道についての講話を行っている。

― 国鉄時代を振り返って ―

一番大変だったのは機関車をバックで運転することでした。湯前駅には機関車の方向を変える転車台がないため、人吉駅～湯前駅までバックで運転しなければなりません。後ろには石炭などを載せた炭水車を連結していて、進行方向が確認できず、窓から顔を出して運転していました。石炭のくずなどが顔に飛んでくるため、防じん眼鏡をかけないと運転できませんでしたし、冬は風が冷たくて大変でした。霧が濃い日は視界が悪いため、速度を落としながら汽笛を頻繁（ひんぱん）に鳴らしていました。

― くま川鉄道への思い ―

令和２年７月豪雨災害で、くま川鉄道が今後どうなるのか心配でしたが、永江社長を中心に社員の皆さんも一生懸命頑張っていらっしゃいます。鉄道は単に人や物を運ぶだけでなく、心のつながりの場所。上・中・下球磨を１つの線路とすることで、人々の交流や心のつながりが生まれる場所になればうれしいです。大変だとは思いますが、地元の鉄道を守ってもらいたいと思います。

1924年3月30日 鉄道省（国鉄）湯前線開業
人吉・肥後西村・一武・免田・多良木・湯前の6駅で運行

1937年4月1日 東人吉駅（現・相良藩願成寺駅）で旅客・貨物の営業開始

1953年7月15日 川村駅・木上駅を新設

1963年4月5日 東免田駅・東多良木駅を新設

1987年4月1日 国鉄分割民営化でJR九州へ移管

1989年4月26日 くま川鉄道株式会社発足

1989年10月1日 くま川鉄道湯前線の運行開始
おかどめ幸福駅・公立病院前駅・新鶴羽駅を新設

2009年4月1日 人吉駅を人吉温泉駅・免田駅をあさぎり駅に変更

2020年7月4日 豪雨災害で球磨川第四橋梁流失、5両の車両が浸水など甚大な被害を受け、全線運休

2020年7月20日 代替輸送バス運行開始

2021年11月28日 肥後西村駅～湯前駅間の運行を再開

2024年3月30日 国鉄湯前線開業から100年

2025年度 くま川鉄道全線復旧（予定）

開業100周年記念事業

湯前線100周年を祝って、くま川鉄道株式会社ではさまざまな記念事業が計画されています。くわしくは同社のホームページをご覧ください。

▲ホームページ

ヘッドマーク運行

湯前線開業100周年を記念し、列車の先頭部に特製ヘッドマークを取り付けて運行中です！
期間：９月30日まで
運行：肥後西村～湯前区間、毎日運行

くまてつまつり

５月５日に「湯前線100周年記念くまてつまつり」を開催！子どもから大人まで楽しめる鉄道一色のイベントです。

※写真は昨年開催の「秋のくまてつまつり」の様子

くま鉄の今

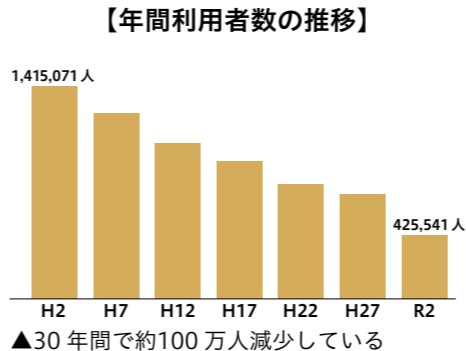
～令和2年7月豪雨を乗り越えて～

過疎地域の公共交通

国鉄時代から人吉球磨地域の足として、多くの人たちを運び続けているくま川鉄道。過疎地域の最重要課題とも言える人口減少と少子高齢化の影響は、地域の公共交通にも大きな影を落としています。

くま川鉄道の主な利用者は高校生や自家用車を持たない人たち。生徒数が年々減少することで定期券収入も減少。赤字経営が続く状況となっています。

【年間利用者数の推移】

▲30年間で約100万人減少している

災害とコロナ

厳しい経営状況が続く中、くま川鉄道にさらなる試練が。全世界の有り様を一変させた新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大と県南に大きな爪痕を残した令和2年7月豪雨災害です。

新型コロナウイルス感染症は、高い感染性から人の動きを制限し、公共交通機関などの経営に大打撃を与えました。令和5年5月に感染症法上の位置づけが5類となったことで、人の動きは戻りつつありますが、公共交通機関が受けた損失は依然、残されたままとなっています。

令和2年7月豪雨災害では球磨川第四橋梁（きょうりょう）の流失や保有する全車両が水没するなど、くま川鉄道も甚大（じんだい）な被害を受けました。3両を復旧整備し、現在は湯前駅～肥後西村駅間の部分運行を行っています。肥後西村駅～人吉温泉駅間は代替バスで対応中。利用者の大半が乗り換えを余儀（よぎ）なくされる状況です。

▲豪雨災害で浸水被害を受けた車両

▲部分運行再開をみんなでお祝い

全線再開に向けて

令和2年7月豪雨災害で流失した球磨川第四橋梁の復旧工事が続けられています。同工事を含め、全線再開に向けて支援しているのが「くま川鉄道再生協議会」です。

同協議会では地元自治体や関係団体などの連携強化を進め、支援策や利活用促進策などの検討・協議を重ねています。今後は上下分離方式※の導入に向け、鉄道施設などを管理する新たな法人の設立やくま川鉄道株式会社から移管する鉄道施設などの整理調整などを進めていきます。

取り巻く環境の変化

部分運行で高校生の通学の足として再開したくま川鉄道。以前は始発から多くの高校生が乗り込む姿が見られましたが、高校の朝課外授業が無くなったことで、その風景は見られなくなりました。

人々の生活のあり方で鉄道を取り巻く環境は絶えず変化していきますが、くま川鉄道は今日も変わらず球磨盆地の中央を走ります。この風景が次の100年まで続くためには、私たちの支えが必要です。

※上下分離…線路などの施設管理（下部）と車両などの運行・運営（上部）をする組織を切り分け、下部と上部の会計を独立させること

▼復旧作業中の球磨川第四橋梁（肥後西村駅～川村駅間）

▲通学のため車両に乗り込む生徒たち（あさぎり駅）

おはようございます
行ってきます！

◀ファミリーマートIC店（人吉市鬼木町）前で代替バスを降りる生徒。ここから徒歩で人吉高校に

くま川鉄道利用者の声

生徒にとっても、地域にとっても大切な存在

入学時はバス通学でしたが、1年生の後半から部分運行が始まり、くま川鉄道を利用し始めました。友達と楽しく会話したり、車内から見る夕焼けはとてもきれいで癒されます。

くま川鉄道の存在は生徒にとっても、地域にとっても大切だと思うので、少しでも早い全線復旧を願っています。

福田 陽音（はるね） さん
（球磨中央高3年＝水上村）

親への負担が減って助かっています

左）**尾方 亮太** さん（球磨工業高2年＝多良木町）
黒木 翔太 さん（　〃　＝あさぎり町）

尾方さん） くま川鉄道がなかったら、親に送迎してもらう方法しかなく、それでは親に大きな負担がかかると思うので、鉄道の存在はありがたいです。

黒木さん） 鉄道のおかげで毎日楽しく登下校できています。

くま鉄の魅力

〜全国の鉄道ファンも注目〜

自転車でレール上を走れる？

マウンテンバイクで線路上を走るレールサイクル『くまチャリ』。全線復旧までの期間限定イベントです。現役の鉄道レールを走るという、今しかできない貴重な体験が楽しめます。コースは十島菅原神社付近〜相良藩願成寺付近の往復約4キロ。木々でつくられた自然の森のトンネルや球磨川、人吉の街並みを望める走りやすいコースを走行します。「ガタンゴトン」という音は列車そのもの。電動アシスト付きで爽快に楽しめます。ことしは3月2日から運行開始予定。現在受付中です。

現存する唯一の「幸福」駅

くま川鉄道の駅には「おかどめ幸福駅」という名の駅があります。くま川鉄道がJRから湯前線を引き継いだときに新設された駅で、日本で唯一「幸福」の名がつく現役の駅です。駅近くに幸福神社として親しまれている岡留熊野座（おかどめくまのざ）神社があることが名前の由来です。

昨年11月には台湾国内で唯一「幸福」の名がつく、台湾新北（しんぺい）MRTの幸福駅と、幸福のつく同駅名の友好提携が締結されました。台湾と日本、新北市と人吉球磨間の文化・経済交流を通して、さらなる観光客の増加が望まれます。

九州で唯一の風景が見られる

かつて日本中の鉄道で見られたタブレット交換の風景。タブレット交換とは、1つの路線を走る列車同士の衝突を防ぐために金属製の円盤（タブレットやスタフ）を持った列車だけが線路を走る仕組みのこと。あさぎり駅には交換の風景が残っていて、全国的にも希少なため、この交換を見るためだけに訪れるほど鉄道マニアから人気があります。

現在は被災による影響で、全線復旧までの間、形の違うスタフ同士の交換を行うことで、安全な運行が続けられています。

▲普段見ることのできない景色がたくさん

▲周辺は「幸福」一色のおかどめ幸福駅

▲輪っかの下のバッグにタブレットがある

Interview

我ら、くま鉄応援団！

東京支社長 杉山 江利子（えりこ） さん（東京都）／副支社長 杉山 聡（さとし） さん（北海道）

寄付やグッズ購入などでくま鉄を応援する人は全国に。その中で、テレビ番組を通してくま川鉄道の永江社長と出会い、社長公認の「くま川鉄道東京支社」としてボランティアで応援活動をする夫婦にくま鉄への思いを聞きました。

永江社長との出会いは約7年前。ほかの鉄道事業者の手伝いをしていた私たちに、社長から「鉄道イベントに参加したいが、社員2〜3人の交通費や宿泊費などがかかるため参加は厳しい状況。手伝ってもらえないだろうか」と依頼があり、回数を重ねるうちにくま川鉄道東京支社として活動するようになりました。

令和2年7月豪雨被災前は、お客さまに「くま川鉄道はどこを走っているの？」と聞かれることが多かったのですが、被災後は「頑張ってください」「全線開通したら乗りに行きます」と励ましの声を多くかけてもらうようになり、皆さまの応援が我が事のようにうれしく感謝しています。一日も早く全線復旧できるよう、東京支社としてこれからも応援し続けます。

▲鉄道イベントがあると聞けば無償でどこへでも駆け付け、グッズ販売などに協力する杉山夫妻

くま鉄の未来

〜これからも人吉球磨にはくま鉄が必要〜

くま川鉄道株式会社取締役社長
永江 友二（ながえ ゆうじ） さん（59＝人吉市）

列車通学の経験はないが、五高校体育大会の応援に行くために湯前線を利用していた。列車通学の同級生から列車内での出来事を聞くのがとてもおもしろかったことを覚えている。

鉄道復旧に懸ける思い

令和2年7月豪雨災害でくま川鉄道が甚大（じんだい）な被害を受けたとき「赤字が年間8千万円ある会社なのに50億円もの費用を掛けて鉄道を復活させるのはどうか」という声もありましたが「復旧＝存続」「復旧しなかったら廃線」になると思い、高校生の通学の足がどうなるのかを一番に考えました。そこで、目的地までの所要時間が短い速達性や大量輸送性、正確に到着する定時性などの利便性、運行費用などをバスなどのほかの交通手段と比較。その結果、鉄道がまだまだ優位だということが分かり、お金を掛けてでも復活した方がこの地域にとって最善だということに。1日も早い鉄道の復旧・復興が責務だと思い、社員全員が一丸となって復旧・復興事業と同時に通常の運行を行っています。

赤字対策に動画配信

収入源を増やす取組として、令和4年6月にYouTube（ユーチューブ）チャンネル「くま鉄チャンネル」を立ち上げました。現在（1月末時点）、チャンネル登録者数は約3千人。公開した動画を再生することで、くま川鉄道に収入が入ります。この収入で少しでも赤字を補うことができれば、鉄道に投じられている補助金を医療や福祉、教育に回すことができるのではと考えています。人吉球磨の皆さんにもぜひ視聴していただき、協力してほしいです。

鉄道が必要な理由

現在、湯前駅〜肥後西村駅間で部分運行をしながら、令和7年度の全線開通に向けて計画を進めています。くま川鉄道がほかの輸送手段より優位である以上、全線開通後も存続していくことが大切で、利用者を増やしていくことが課題です。存続できなければ、通学する手段が無い高校生が不便さを理由に人吉球磨を出ていく恐れがあります。人口流出は少子化が進む人吉球磨の衰退に拍車をかける可能性も…。鉄道の存続で高校生の通学の利便性を保ち、地元に残りやすい環境を作り出すことも大事なことだと思っています。このことは、地域経済を考えると、鉄道だけの問題ではなく地域全体の問題として捉える必要があります。

人吉球磨地域にはまだまだくま川鉄道が必要です。湯前線開業100周年をお祝いするとともに、これを機に「地域公共交通をみんなで大切にしていこう」という、さらなる気運の高まりを地域全体で図っていけたらうれしいです。

チャンネルを登録して、くま鉄を応援しよう！

くま川鉄道株式会社が運営するYouTube チャンネル「くま鉄チャンネル」では、くま川鉄道の魅力や沿線地域の魅力、被災後の状況や全線復旧までの出来事、鉄道の豆知識などを発信しています。チャンネルを登録してぜひご覧ください。

▲くま鉄チャンネル

◀一番人気の動画「【密着】鉄道の車掌ってどんな仕事？」

1 One 貴重な体験

下町橋補修工事見学会

1_ 作業現場を見学 2_ 壁石の説明を受ける生徒

まちは湯前中学校の２年生生徒を対象とした下町橋補修工事見学会を、１月19日に同工事現場（下城）で開きました。

下町橋は創建から100年以上経過する中、経年劣化だけでなく、熊本地震や令和２年７月豪雨などの影響もあり、壁石が抜け落ちるなどの損傷が進んでいました。貴重な文化財の保護のため、補修工事を計画。昨年９月から工事を進めています。

見学会では資料をもとに、まちの歴史や工事の内容などを説明。当日は壁石の修復作業が進められていて、生徒らは近くまで行き、作業の様子を見学しました。見学を終え、右田汐音さん（浅鹿野）は「一生に一度の貴重な体験ができて良かった」と話しました。

2 Two 野球を好きに

大谷グローブ初使用で笑顔

1_ キャッチボールで笑顔 2_ 大谷グローブと記念に１枚

大谷グローブが１月19日に湯前小学校に届き、１月23日に代表児童の６年生３人がキャッチボールを体験。体験した豊永碧音さん（上村）は「生まれて初めて触ったグローブが大谷グローブでうれしい」、松本花さん（田上）は「（グローブ寄贈や義援金寄附などしている大谷選手は）とても優しい人だなと思うし、日本の誇りだと思う」、井上愛菜さん（中里２）は「届いたグローブを見て、きれいでかっこいいと思った。たくさん使いたいと思う」と話しました。

届いたグローブは大谷選手の『野球を楽しんでもらいたい』という思いに合わせ、時間と順番を決めて全児童が使えるようにしています。

3 Three まちの未来の発展へ

湯前町振興計画策定審議会答申

１月29日、役場洋会議室で長谷和人町長からの諮問に対する答申を行い、委員８人が出席。中武義秋会長（74 ＝上里３）が長谷町長に答申書を手渡しました。

同審議会は昨年６月から「第６次湯前町総合計画基本計画（後期）」の策定と「第２期湯前町総合戦略」「第６次湯前町総合計画」「湯前町過疎地域持続的発展計画」の検証について、審議を重ねてきました。今回の答申書には①災害・感染症への対応②農林業の振興③商工業・観光の振興④教育⑤人口減少対策⑥まちづくりの６つを中心とした意見を記載。答申書を受け取った長谷町長は「未来の湯前町のための参考書として、答申書をしっかり読みながら計画を進めていきたい」と話しました。

答申書を読み上げる中武会長

4 Four 親子で記念作業

湯前小学校卒業記念植樹

２月６日、湯前小学校の６年生児童と保護者らが卒業記念植樹に参加。小学校卒業という節目を前に、形に残る思い出をつくりました。

ことし植えたのは、サクラの苗木30本とモミジの苗木７本。会場となった、ゆのまえグリーンパレス芝生広場の一角は石が多く埋まっていて、穴を掘るのも一苦労でした。穴を掘り終えたら苗木と肥料を中に入れ、土をかぶせてしっかり踏みつけ。苗木が倒れないことを確認して作業は終了しました。作業後は親子そろって仲良く写真撮影。作業を終えて、村上秀海さん（下村）は「親と協力して作業ができて良かった」と話しました。

1_ 一緒に穴掘り 2_ 苗木をていねいに入れる親子

5 Five 町の発展に貢献

谷口德太氏に高齢者叙勲

２月９日、役場町長室で高齢者叙勲伝達式を開き、長谷和人町長が谷口德太さん（88 ＝上村）に勲章と勲記を手渡しました。同章は地方自治の発展に貢献したとして、88歳になった功労者に内閣総理大臣から贈られるもの。谷口さんは町議会議員を17年５ヵ月務め、町議会副議長や人吉球磨広域行政組合議会議長などを歴任しました。

受章した谷口さんは「名誉ある賞をいただけて本当に感激している。健康で、したいことをしながら生活できているということが、私の私に対するご褒美。地域の皆さんにもかわいがってもらい、幸せに育っているなと感じている」と感想を話しました。

1_ 勲記を手渡す長谷町長 2_ 勲章と勲記を持って記念撮影

6 Six 世界に１つの作品

湯前小学校卒業記念制作

２月15日、湯前小学校で陶芸教室が開かれ、同校の６年生児童が卒業記念制作としてオリジナルマグカップを作りました。同教室には湯前町老人クラブ連合会陶芸部会の会員6人が講師として参加。それぞれ見回りながら、一人一人の制作を手助けしました。

個性あふれるマグカップを作りあげた児童ら。制作を終えて、椎葉堅塁さん（上里１）は「初めて陶芸を体験して、難しいところもあったけれど、完成させることができてよかった」と話しました。

1_ 一点集中 2_ 力作が完成 3_ 講師と一緒に制作

学習の成果を堂々と発表

1_3年生の発表のワンシーン（さんねん峠） 2_ 多くの観客が頑張る子どもたちを見守った 3_ 衣装や背景にもこだわりが（2年生） 4_ 静かに出番を待つ児童ら 5_ 全校児童合唱でスタート 6.8_ 6年生は修学旅行、5年生は集団宿泊での学びを発表 7_ 4年生は合奏も披露 9_ 初めての発表会となった1年生も元気よく発表

2月4日、湯前小学校体育館で同校の学習発表会が開かれ、全校児童が1年間の学習の成果を披露しました。

劇やプレゼンテーションなど、学年ごとにそれぞれ工夫を凝らして発表。インフルエンザなどへの感染で欠席者が相次ぐ中でしたが、児童らでカバーし合って無事に発表を終えました。会場には家族や親戚、地域住民など多くの観客が詰めかけ、児童らに温かい拍手を送りました。

■各学年の発表

1年生（音楽・国語）
「くじらぐも　～湯前小バージョン～」

2年生（音楽劇・国語）
「スイミー　～24人のなかまたち～」

3年生（国語・音楽・体育）
「クイズ答えてちょ～だい
～3年生の学びのあしあと～」

4年生（総合的な学習の時間・社会）
「ごんと考える私たちのふるさと
～4年生での学び～」

5年生（総合的な学習の時間）
「水俣　～今、わたしたちが伝えたいこと～」

6年生（総合的な学習の時間）
「平和への誓い　～修学旅行で学んだこと～」

History

湯前歴史散歩

村会議事録にみる下町橋の架設①

修繕工事前の下町橋

現在、町指定文化財の石橋「下町橋」の補修¥工事を進めています。下町橋は明治39年（1906年）に都川に架けられた単一アーチ式石造橋。下町橋という名前は下城と古町の一字ずつを取って名付けられました。

用材補助下附願い

当時の村会議事録に下町橋架設に関する記述がありました。明治39年9月20日、里区長椎葉三蔵と城区長兼田喜太郎の連名で、湯前村長野口利久あてに、次のような願書が提出されています。

右ハ先般修繕用材トシテ、杉・桧五本ノ御下附ヲ受ケ、現今該工事着手中ノ処、同所ハ誠ニ困難ノ場所ニテ、是迄八年若クハ拾ヶ年位ヒ毎ニ用材御下附ヲ受ケ架替へ致シ来リ候モ、今後ハ用材トシテ欠乏ヲ告クルヤモ難斗候ニ付、今回同設計ヲ変更シ、目鏡形工事ヲ以テ修繕シ、可及永久ニ維持致度候間、別紙設計書ノ通、需用候ニ付、何卒此上特別ノ御詮議ヲ以テ、前項ノ枯損木若クハ焼松木、無代価ニテ御下付被成下度、此段相願候也

木橋から石橋へ

願書によれば、以前から下町橋が存在し、明治39年に村から杉・桧5本の払い下げを受けて、木橋として下町橋の架け替え工事に着手していたことが分かります。しかし、同所は困難な場所で、8～10年ぐらいごとに、橋の架け替えが必要であり、今後、用材が欠乏するかも分からないので、石橋（眼鏡橋）に設計を変更し、永久に維持できるようにしたい、と述べています。

木橋から石橋への変更に関して、恒松光蔵氏の「球磨・人吉の眼鏡橋」では、村から払い下げを受けた杉の木が、あまりにも大きく良材だったので、この木を売って、永久橋となる石橋を架けることに急遽なったという逸話がまとまったという逸話を紹介しています。

村議会では、願書を受けて用材を下付することを可決。下町橋は石橋として架け替えられることになりました。

地元による橋の維持管理

下町橋の架け替えは、橋の両岸に当たる城区・里区が主体となって実施し、村へは工事に必要な材木の払い下げを願い出ていました。当時はそれが一般的だったようです。村から補助を受けつつ、自力で石橋を架けた先人の努力が偲ばれます。

工事で輪石があらわになった下町橋

※当時湯前村は里・城・猪鹿倉・東方・二本柿の5つの区に分かれていました

【参考】恒松光蔵「球磨・人吉の眼鏡橋」『郷土』第7号、昭和54年

教育課 学芸員　松村 祥志

NEWS 1

「ザ！まんが教室」を3回開催しました！

ワークショップで技術を教わり、ライブペインティングでは身近な交流も

昨年12月に始めた「ザ！まんが教室」。熊本県を中心に活躍しているマンガ家やイラストレーターを講師に招き、マンガの描き方や見方を楽しく学ぶワークショップとして定期的に開催しています。

昨年12月2・3日に開催した第1回の教室では、マンガ家の村枝賢一先生、森真理（しんり）先生に1ページマンガの制作を指導してもらいました。1月27日に開催した第2回の教室では、合志マンガミュージアムの安在渉（あんざいわたる）先生に、Gペン・ミリペン・コピックなど、プロの現場でも使われるマンガ画材の使い方を教えてもらいました。先月18日に開催した第3回の教室では、イラストレーターのTOMMY-ZAWA（トミーザワ）先生に、オリジナルのキャラクター制作のコツを教えてもらい、完成したキャラクターをトランプカードに描く「キャラトランプづくり」を行いました。

「ザ！まんが教室」では、ワークショップの終了後に「ライブペインティング」を毎回開催しています。講師と参加者全員で力を合わせて、大きなキャンバスに絵を描くイベントです。第1回ではホワイトボード、第2・3回ではコロナ禍に使用されていたアクリルパーティションに、講師・参加者一人一人が思いのこもったイラストを描き入れました。よく見ると、湯前町の名所や特産品、ゆるキャラなどの姿も。完成した作品はまんが美術館に収蔵・展示され、観る人の目を楽しませています。

本年度の「ザ！まんが教室」はこれで一区切りとする予定ですが、令和6年度も引き続きマンガの楽しさ・おもしろさを体感できるイベントをたくさん開催していきます。最新の情報は、美術館のホームページ・SNSでもチェックしてみてください。

1.2.3_アクリルパーティションに絵を描き込む参加者と安在先生、TOMMY-ZAWA先生 4_分かりやすく伝える村枝先生 5_第1回のライブペインティング作品

NEWS 2

好評につき、第2回の開催決定

「戦争・国際紛争」が今回のテーマ

新聞博物館（熊本日日新聞本社）で昨年開催した出前まんが美術館「良輔風刺マンガ劇場」。好評につき、ことしも開催が決定しました！今回は「戦争・国際紛争」がテーマ。ベトナム戦争や中東戦争など、冷戦時代の戦争を描いた那須先生の風刺漫画と、当時の熊本日日新聞記事を一緒に展示。「平和とは何か」を考えるきっかけとなる展覧会です。熊本市内にお出かけのときは、ぜひお立ち寄りください。

《展示予定作品》

1_「はるかなる星」1966年7月16日毎日新聞（夕刊） 2_「地球もアバタヅラ」1965年9月6日毎日新聞（夕刊） 3_「軍票をかぞえる女」1946年6月12日制作

○出前まんが美術館「第2回りょうすけ風刺マンガ劇場」（仮）

【会　期】3月18日～5月11日
【会　場】新聞博物館（熊本日日新聞本社）
【時　間】10:00～16:30
【休館日】日曜・祝日
【入館料】無料

○さらに…

「第2回りょうすけ風刺マンガ劇場」の開催を記念し、4月下旬に「国際平和とは？」をテーマにした講演会の開催を予定しています。熊本市と本町で1講演ずつ行う予定。くわしくは後日、広報や旬報、美術館ホームページなどでお知らせします。

湯前まんが美術館 Yunomae Manga Museum 那須良輔記念館

入館料	高校生以上 300円	中学生 100円
	未就学児 無料	※湯前町民は全員無料

X（旧Twitter）

Instagram

▲SNSでまんが美術館の最新情報を発信中。ぜひフォローをお願いします！
アカウント：@yunomae_manga

よりぬき！

りょうすけギャラリー

開催中の展覧会から、おすすめ作品を紹介！今月は「りょうすけ干支展」（常設展示室）の中から紹介します！
※「りょうすけ干支展」は4月7日まで

『了解、了解』
1968年8月22日毎日新聞（夕刊）

故 **那須 良輔** 先生

那須先生のことば

「欧州の平和は核と東西の軍事バランスによってのみ可能なのだろうか、新たな対話を通じて平和共存への努力を少しずつでも進めてほしいものである。」―那須良輔『漫画家生活50年』（1985年）P168より

Information

那須先生の作品画像を無料で利用可能！

まんが美術館に収蔵されている那須先生の作品画像を商品やポスターに利用できます。商用・非商用を問わず無料で利用可能。利用したいときは申請書を教育課に提出してください。くわしくは教育課に問い合わせるか、まんが美術館ホームページで確認してください。
教育課 ☎0966（43）2050

『猪と犬』
※常設展示室で公開中

髙橋 颯希（さつき） 隊員

中尾 章太郎 隊員

本の世界

今月のおすすめ

中央公民館図書室 ☎0966(43)2050

【平　日】8：30～17：00

【土日・祝】9：30～17：00

新しく300冊が仲間入りした県立図書館寄贈の本の中から「はじめて」をテーマに紹介。もうすぐ春。新生活を始める前に「はじめて」を始めてみませんか？

これからはじめる山歩き

好日山荘 おとな女子登山部(監)
ナツメ社

登山の人気コースを２つご案内。一つ目は北アルプス。槍ヶ岳(やりがたけ)、穂高連峰(ほたかれんぽう)などの山々を眺めながら、稜線(りょうせん)歩きを楽しむ雲表コースです。もう一つは、紅葉の北八ヶ岳です。頂上からの眺めだけでなく、池・樹林・コケなど、色づく秋の山を楽しむコースです。美しい写真を堪能(たんのう)してください。

はじめての庭木・花木

小林 隆行(監)
日本文芸社

花が美しい、実が綺麗、カラーリーフ、紅葉で色づくなどのカテゴリーで分類した庭木170選。新しい品種も豊富に、写真を多数掲載して紹介します。

はじめてのおかねえほん

泉 美智子(監)
西東社

未就学のお子さんでもわかる絵本。キャッシュレス時代だからこそ子どもたちに教えておきたいお金の基礎知識を、楽しくわかりやすく１冊にまとめました。ユニークなナビキャラと、クイズやパズルなど参加型の仕掛けで、遊びながら学べます。

料理はすごい！はじめての料理本

柴田書店(編)
柴田書店

小学校低学年のお子さんから使える、子どものための料理本です。テレビや学校、料理教室、自身の子どもたちに料理を教えた４人のシェフが妥協を許さず作った本となっています。

保健

心に余裕のある生活を過ごしませんか

健康のために、自律神経を整えましょう

日々の寒暖差や気候変動が大きくなる「春」。就職や進学などでの環境の変化によるストレスもあり、体の機能を調節してくれる自律神経のバランスを崩しやすい時期となります。

健康的な生活習慣を送り、上手にコントロールすることで自律神経を整えることもできます。自律神経の整え方を身に付け、健康を維持しましょう。

■自律神経を整えるためのヒント

①朝食を必ず食べる

朝食は寝ている間に下がってしまった体温を上げ、自律神経を整えるために大きな役割を果たします

②呼吸を意識する

息を吸うのは交感神経、息を吐くのは副交感神経に関わります。吐く息を長くする深い呼吸で緊張がほぐれます。緊張が強いときは吐く息を長く（８秒くらい）、吸う息を短く（４秒くらい）することを意識してみてください。寝る前にやるのもおすすめです

③心地いいことをする

短時間でもよいので、１日の中で自分が“心地いい”と感じる時間をつくりましょう。好きなことであっても、集中力が必要な作業や激しい運動は交感神経が優位になってしまうため、リラックスには向きません。注意しましょう

④外の光を浴びる

幸せホルモン＝セロトニンが合成されて、ストレスが軽くなります。朝の光を浴びた14～15時間後には、セロトニンを原料とする、眠気を促すメラトニンが分泌され、不眠の改善にも有効です

看護師 **渕田 ルミ**

栄養

体内時計と時間栄養学で健康な生活を

あわただしい季節を健康に乗り切るために

ようやく春らしい温かな日差しを感じられるようになりました。３月・４月は移動の季節で、あわただしく過ごすことも多いでしょう。今回は体内時計を整える方法と時間栄養学を紹介。健康的な生活を送るために、ぜひ試してみてください。

■体内時計を整える方法

体内時計を整えることで、心身が安定すると言われています

- 毎日同じ時間に起きて光を浴びる
- 昼間は活動的に過ごす
- 就寝１時間前に入浴する

■時間栄養学

時間栄養学とは「何をどれだけ」「いつ食べるか」に注目した栄養学のこと

- 朝食は炭水化物とたんぱく質をとる
- 昼食は栄養豊富な食事をしっかりとる
- 夕食は脂質を控え、食物繊維を増やす
- 飲酒は糖質を控え21時まで
- 夕食をとる時間が遅くなるときは夕方に補食をとる

管理栄養士 **田中 朋子**

環境

ごみは分別して出しましょう

資源ごみ（ペットボトル）の出し方について

資源ごみとして回収できるペットボトルは、飲料用で無色透明のものだけです。フタとラベルを取り、中をきれいにすすぎ、つぶさずに出してください。

※フタとラベルは、燃えるごみ

資源ごみとして出せないものの例

■燃えるごみとして出すペットボトルの例

- 中身が残っている、汚れているペットボトル
- たばこの吸い殻などの異物が入っているペットボトル
- 食用油、非食品用、飲料以外の用途で使用されたペットボトル

◎リサイクルステーションからのお願い

せともの（茶わん・湯のみ・急須・花びん・植木鉢など）は、燃えないごみです。袋が破れるおそれがあるものやケガをするおそれのあるものは、厚紙などで包んでから指定のごみ袋に入れ、毎月第１・３水曜日に、指定の場所に、午前８時までに出してください

３月の不燃物収集は
６日（第１水曜日）のみです

青年団だより －Youth－

教育事業に参加 / 駅伝大会で見事優勝！

1月17日、球青協青年会館で、本年度の「教育事業」が開かれました。教育事業とは、球磨郡青年団協議会に加入している各町村の団員が一堂に会し、人生に役立つ学びを得るイベント。今回は山江村青年団の新堀恵里さん（九州労働金庫）が講師を務め、積立NISA（ニーサ）などの資産運用について講習会が行われました。湯前町青年団からも団員が出席。将来設計に役立つ知識を得ることができました。

1月21日には、錦町で第54回球青協駅伝大会が開かれ、湯前町青年団が見事優勝を果たしました。一人一人が次の選手へ懸命にタスキをつなぎ、最後まで1位を守り切りました。大会実現に向けて尽力した球青協役員の皆さん、運営に協力いただいた各町村役場の皆さん、ありがとうございました。選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。

私たちと一緒に青年団で活動してみませんか？
就職などで初めて本町に来た人でも、同年代の友達ができたり、まちのことを知ることができるチャンスです！おもな活動は公式インスタグラムでどんどん発信しますので、ぜひフォロー＆チェックをお願いします！

青年団Instagram

広報部長 **中尾 章太郎**

B&G活動 －Sports－

14年連続　特A評価を獲得しました！

皆さんに支えられての特A評価

いつも海洋センターを利用いただきありがとうございます。

湯前町B&G海洋センターは、2022年度の海洋センター評価で「特A評価」を獲得。今回で14年連続の獲得となりました。

海洋センター評価とは、施設の利用者数や、海洋クラブ・B&G財団会長杯などの海洋センターでの年間のさまざまな活動を、B&G財団が評価し、ランク付けするものです。

1月23日に東京都内で開かれた「第16回全国サミット」では、湯前町の名前が掲示されていました。まずは20年以上特A獲得を目指しますので、今後もぜひ海洋センターの利用をお願いします！

B&G海洋センター **安井 佳奈**

↓全国サミットで見つけた「湯前町」

つなぐゆのまえ ― 人権のひろば ―

▶外国人と人権

共存への第一歩は互いを認め合うこと

互いに歩み寄る気持ちが大切です

本当に人権に国境はない？

外国人は文化・生活習慣・言語・宗教など日本人と違うことが多いため、私たちは先入観や偏見をもって接してしまうことがあります。

特定の民族や国籍の人々を攻撃・脅迫・侮辱する発言や言動＝「ヘイトスピーチ」が大きな社会的問題となっている近年。地球上のすべての人の人権を大切にし、違いを認め、互いを尊重し合い、誰もが幸せに暮らせるまちをつくることが望まれています。

外国人に起きている問題

【職場】
・就職のときなどで、本人の能力や適性よりも国籍で判断されることがある
・働く場所や期間が一定でない、賃金が安いなど、就労の形態や条件で不利益な扱いを受けている人がいる

【学校】
・日本語指導を必要とする児童生徒が増えている
・外国人には、子どもを小・中学校に通わせる義務がないため、学校に通えない子どもが出てくる可能性がある

※外国人であっても日本の義務教育を受ける権利があります

【地域社会】
・言葉や習慣などの違いから、アパートなどへの入居のときに不当な扱いを受けてしまうことがある
・言語が分からないことで、さまざまなサービスの存在を知ることができないことがある

私たちが心がけること

◎外国人に対する誤解や偏見に基づく予断をなくして、互いに尊重し合う意識を高める
◎外国人の宗教・習慣・文化を理解して外国人が持つ価値観や生活習慣などの多様性を認め合う

「私たちも海外へ一歩踏み出せば外国人」ということを考えると自ずと振る舞い方が見えてくるのではないでしょうか。互いに認め合うことが共存への第一歩となります。

地域人権教育指導員
窪田 龍記（たつき）

町民憲章
Town's People Charter

一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。

3月の表紙

未来に向かって出発進行！

今月30日に湯前線開業から100年を迎えるくま川鉄道。被災からの全線復旧だけでなく、さらに先の未来も見据えながら、今日も出発します。すべては地域のために ― 。

撮影場所　湯前駅

Yunomae 広報湯前 Since1962.
3 Mar 2024 Vol.513
令和6年3月1日発行第513号
編集・発行／湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL:0966(43)4111 HP:https://www.town.yunomae.lg.jp/ 印刷／(有)ソーゴーグラフィックス

1_ 力走する深水帆乃華選手 2_ 大会を終えた女子メンバー 3_ ランナーを追い抜く永田選手

球磨郡でタスキをつなぐ

熊日郡市対抗女子駅伝／郡市対抗熊日駅伝

本町から多数選出

1月28日に第41回熊日郡市対抗女子駅伝が、ぴぷれす熊日会館前をスタート・ゴールとする7区間（28キロ）で開かれ、19チームが参加。球磨郡は9位でゴールしました。

今回、本町からは4人の選手が選ばれ、3人が出走。深水帆乃華（ほのか）選手（東海大熊本星翔高3年＝瀬戸口）が5区、植木陽菜乃（ひなの）選手（小林高校1年＝馬場）が6区、遠坂日向（ひなた）選手（湯前中3年＝馬場）が7区を担当し、後半の3区間を本町選手でつなぎました。

先月11日には第50回郡市対抗熊日駅伝が、天草市役所前をスタート、ぴぷれす熊日会館前をゴールとする14区間（103.3キロ）で開かれ、19チームが参加。球磨郡は6位でゴールしました。

本町からは2人の選手が出場。6区の永田悠大（ゆうだい）選手（球磨工業高2年＝上里3）が区間4位、9区の福屋渉（わたる）選手（20＝瀬戸口）が区間7位と、3年ぶりの、入賞に貢献しました。

■総合成績

〈女子〉⑨球磨郡　1時間43分46秒

〈男子〉⑥球磨郡　5時間31分58秒

■個人成績／ひとこと ※〔区間順位〕

深水 帆乃華 選手

▶5区（5キロ）17分07秒〔8〕

「中学1年生から球磨郡チームにお世話になり、少しは恩返しができたかなと思います。湯前町の後輩が大会に出場することが増え、活躍してくれていることがうれしいです」

植木 陽菜乃 選手

▶6区（5キロ）17分42秒〔8〕

「日ごろから応援してくれている地域の皆さんに、少しでも成長した姿を見せたいという思いと、感謝の気持ちを持って走りました」

遠坂 日向 選手

▶7区（4.8キロ）17分49秒〔10〕

「アンカーという大役を任せてもらえて、とてもうれしかったですが緊張もしていました。本番では楽しく走ることができたので良かったです」

深水 夢華（ゆめか） 選手

（東海大熊本星翔高1年＝瀬戸口）

「走ることができず悔しい思いをしましたが、サポートに回って見えてくるものがあり、勉強になりました。来年こそは選手として走れるように頑張ります」

永田 悠大 選手

▶6区（5.8キロ）18分44秒〔4〕

「初の出走で不安もありましたが、最後まで失速することなく力を出し切り、タスキをつなぐことができたので良かったです」

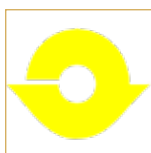
福屋 渉 選手

▶9区（8.1キロ）26分22秒〔7〕

「緊張なく、自信を持って走ることができました。家族や友人の応援のおかげで力を出し切ることができました」

UD FONT by MORISAWA 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ゆのまえ

心豊かで、活力があり、未来を創造する町

町章

町の鳥「メジロ」

町の花「ツツジ」

町の木「ヒノキ」

町ホームページ

町公式LINE

町公式instagram